findコマンドの-pruneオプション

manページでは「**true を返します。** 処理対象がディレクトリである場合、 ディレクトリ内に入っていきません。」という説明で、いったいどういう効果なのかわかりにくい**-prune**オプションについてのメモ。

「説明」の指定された式 (expression)

manページの**説明**にある「指定された式 (expression) を**左から右の順で評価**していきます。」が重要なポイントで、これでオプションによる結果が決まることになる。

findコマンドのexpression

findコマンドで/var以下からディレクトリを検索するが□logディレクトリより下を除外する場合は下記のように指定する。

```
$ find /var -type d -name log -prune -o -print
```

これはこのように実行されることになる。

command	path	expression-1	operator	expression-2
find	/var	-type d -name log -prune	-o	-print

- pathを起点に検索を開始する。
- expression-1に合致した場合
  - -pruneオプションの結果としてtrueが返されるが**パスは出力されない**
  - **operator以降の式の評価は行われない**
- expression-1に合致しなかった場合
  - expression-2に従いパスが出力される

これらの組み合わせにより「**xxディレクトリより下を除外**」がされることになる。

From:
https://kijima.mydns.jp/dokuwiki/ - **Kijima's private wiki**

Permanent link:
https://kijima.mydns.jp/dokuwiki/doku.php?id=find%E3%82%B3%E3%83%9E%E3%83%B3%E3%83%89%E3%81%AE-prune%E3%82%AA%E3%83%97%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3&rev=1694225378

Last update: **2023/09/09 02:09**